

平成30年度
一般社団法人四日市市文化協会
第4回定時総会

日時：平成30年5月20日(日)10時30分

場所：四日市市文化会館 第3ホール



総 会 次 第

- 1、 開会のことば
- 2、 理事長挨拶
- 3、 来賓紹介・祝辞
- 4、 平成29年度「四日市市文化協会文化活動功労賞」表彰状贈呈
- 5、 議事
 - ・ 報告事項
平成29年度 事業報告
 - ・ 決議事項
 - 第1号議案 平成29年度の一般会計決算報告及び収支差引額処分（案）並びに平成29年度四日市市民芸術文化祭特別会計決算報告及び収支差引額処分（案）承認の件
 - 第2号議案 会費区分及び金額変更の件
 - 第3号議案 平成30年度の事業計画（案）とこれに基づく一般会計予算（案）及び平成30年度四日市市民芸術文化祭特別会計予算（案）承認の件
 - 第4号議案 理事17名及び監事2名選任の件
- 6、 閉会のことば

平成29年度事業報告

(自：平成29年4月1日 ～ 至：平成30年3月31日)

私たちはこの一年「四日市の文化情報を発信し続ける」「次代を担う子どもたちに“文化の種を蒔く”活動をする」という基本姿勢で活動してきました。

最大の取り組みである「第67回市民芸術文化祭」は、22の催し7,530人の出演(展)者、15,607人の入場者を数えました。催しの中には主管団体により市民参加の工夫を凝らした企画もみられました。

また「会員の文化活動への援助」の取り組みは、文化サポート派遣制度や文化祭企画時の「ヒヤリング」の定着により、主管団体が積極的に文化祭に取り組む姿勢が醸成されてきました。CTYでの催し物紹介や「広報よっかいち」、「パッション」への掲載により宣伝活動に努めました。

子どもたちへの文化的、芸術的な体験の機会として「キッズ伝統文化体験教室」をはじめ、子どもたちの参加による公募事業は、応募者が予定数を大幅に上回る状況で、年々盛んになっており参加者から高い評価をいただきました。

また、四日市市よりの委託事業として四日市市三浜文化会館開館1周年記念行事では体験講座7講座にも多数参加があり好評を得ました。

「パッション」は61、62号を発行しました。毎号読みごたえのある充実した内容の文化情報誌になっています。

このような文化活動が認められ、平成16年以降据え置かれていた四日市市からの団体補助金と文化祭委託金が平成30年度より増額されることになりました。

今年度も協会の活動は恙なく進められましたが、われわれを取り巻く環境には厳しい現実があります。それは日本社会全体の高齢化です。当文化協会の会員も高齢化が進み、会員数の減少ひいては加盟団体の減少という状況があります。こうした中でやむなく会費の徴収区分と額を15年ぶりに変更する提案をさせていただくことになりました。

また、平成30年度の市民芸術文化祭の計画は四日市市文化会館の改修工事により、大きな変更を求められました。しかし事前の周知とヒヤリングにより工夫したものができることになりました。

〈平成 29 年度〉

- 5月 20日(日) 第3回定時総会 及び平成28年度「文化活動功労者」表彰
- 6月 4日(日) 能楽部門文化祭「第25回 能楽をたのしむ会」
- 6月 9日(金)～11日(日) 市民芸術文化祭「四日市アート展2017」
23日(土)～25日(日) 市民芸術文化祭「風景写真市民公募写真展」
「フォト十彩」写真展」
- 9月 15日(金) 情報誌『パッション』第61号発行
16日(土)・17日(日) 地域文化部門文化祭 「第52回 秋の文化祭」
- 10月 1日(日) 舞踊Ⅱ・Ⅲ部門文化祭「創作舞踊 民踊会」
8日(日) 邦楽部門文化祭「邦楽まつり」
9日(祝) 洋舞部門文化祭「第11回四日市洋舞フェスティバル」
9日(祝) 舞踊Ⅰ部門文化祭「日本舞踊まつり」
21日(土)・22日(日) 地域文化部門文化祭 「シニア趣味の作品展」
- 11月 3日(祝) 市民芸術文化祭「第16回四日市短詩型文学祭」
4日(土)・5日(日) 生活文化・華道・趣味教養部門「生活文化趣味の作品展」
5日(日) コラボ部門文化祭「オータムコラボレーション」
11日(土)～12月17日(日) キッズ伝統文化体験教室
(書道・日本舞踊・お琴・和太鼓・萬古焼・いけばな・囲碁・茶道
将棋・組子細工など10講座33教室)
11日(土)・12日(日) 四日市市三浜文化会館開館1周年記念行事参加
(こどもとおとなのアートまつり7事業)
- 12日(日) 合唱部門文化祭「合唱祭」
12日(日) 文芸部門文化祭「人道作家 瀬田栄之助の半生」
18日(土) 日帰りバス研修旅行「おんな城主直虎大河ドラマ館」と「紅葉の浜松城」
19日(日) 文化交流部門文化祭 「2017秋! 市民社交舞踏会」
24日(金) 第69回文化祭ヒアリング 11/28、12/4、12/28
24日(金)～26日(日) 美術部門文化祭「総合美術展」
- 12月 2日(土)・3日(日) 趣味教養部門文化祭 「第38回市民囲碁将棋大会」
17日(日) 茶道部門文化祭「クリスマス茶会」
24日(日) 市民芸術文化祭「四日市の第九」

〈平成 30 年〉

- 1月 8日(祝) 市民芸術文化祭「ニューイヤーコンサート2018」
21日(日) 2018新春交流会
- 2月 25日(日) 子ども文化部門文化祭「キッズ・ドリーム・コンサート」
- 3月 15日(木) 情報誌『パッション』第62号発行
17日(土)・18日(日) 地域文化部門文化祭 「第30回 春の文化祭」

平成29年度 文化サポーター活動記録

月	催事名	区分	人数
4	ささ菊会 民踊と舞踊	会 員	6
	四日市交響楽団 第39回定期演奏会	会 員	8
5	第10回 マジックお楽しみ会	会 員	2
6	第25回 能楽をたのしむ会	文化祭	1
	四日市アート展 2017	実行委員会	14
8	セントラル愛知交響楽団第8回四日市定期演奏会	会 員	6
9	第51回 民踊・舞踊の会	会 員	2
	あさけプラザ 第52回秋の文化祭	文化祭	8
	クラシック音楽祭2017みえ	実行委員会	6
10	創作舞踊・民踊会	文化祭	4
	四日市交響楽団 創立40周年記念特別演奏会 「大好き♡オーケストラ」	会 員	8
	日本舞踊まつり	文化祭	4
	Chor.アンサンブル・サルビア 結成53周年記念コンサート Time travel	会 員	2
11	こんな「ヴォーチェ」はいかが？秋のミニコンサートinムーシケ	会 員	6
	四日市短詩型文学祭	実行委員会	3
	オータムコラボレーション	文化祭	4
	合唱祭	文化祭	4
	市民社交舞踏会	実行委員会	4
	総合美術展	文化祭	6
	生活文化・趣味の作品展	文化祭	12
	第9回 ハーモニカ・モニカーズ定期演奏会	会 員	2
12	四日市の第九	実行委員会	12
1	ニューイヤーコンサート2018～羽ばたくわかもの～	実行委員会	12
3	第30回春の文化祭	文化祭	8
	第九予備講座	実行委員会	12

※延べ日数 44日、人数 156人

〈プレゼントチケット〉

開催日	催事名	枚数
4月16日	第39回 四日市交響楽団定期演奏会	20
5月3日	第3回 音楽でつながる青少年“夢の祭典”	200
5月21日	日本舞踊 大河流 寛紫会	2
6月11日	30周年記念 女声合唱団「京」演奏会	10
6月25日	越智インターナショナルバレエ 四日市・桑名アカデミー公演	40
9月3日	～ハーモニカ会発足6周年記念～ 藤井 弘ハーモニカリサイタル	5
10月1日	四日市市制120周年記念 四日市交響楽団創立40周年記念特別演奏会 「大好き♡オーケストラ！」	20
10月8日	Chor.アンサンブル・サルビア 結成35周年記念コンサート Time travel	10
10月9日	第11回四日市洋舞フェスティバル	30
10月9日	日本舞踊まつり	30
10月15日	橘 妃呂子シャンソンコンセール&フェアリーズ	5
10月31日	深山流 豊祥会 第30回記念舞踊会 紅葉に舞う	5
11月18日	第9回定期演奏会 ハーモニカ・モニカーズ	10
11月26日	C・J・G Ballet Studio 第13回発表会	5
12月22日	越智インターナショナル くるみ割り人形	6
30年1/28	石井アカデミー・ド・バレエ 第63回発表会	100

第2号議案 会費区分及び金額変更の件

定款施行規則第7条及び附則を次のとおり変更します。

変更前

(入会金及び会費)

第7条 定款第7条による入会金及び会費は、次のとおりとする。

(1) 入会金 当分の間、これを徴収しない。

(2) 会費	団体	正会員構成員	1人～10人	5,000 円
		正会員構成員	11人～50人	10,000 円
		正会員構成員	51人～100人	15,000 円
		正会員構成員	101人以上	20,000 円

※ただし、中学生以下の構成員は、会費徴収上は人数カウントしない。

個人会員(正会員)		2,000 円
賛助会員(団体)	1口	10,000 円
賛助会員(個人)	1口	5,000 円
名誉会員		会費を徴収しない

変更後

(入会金及び会費)

第7条 定款第7条による入会金及び会費は、次のとおりとする。

(1) 入会金 当分の間、これを徴収しない。

(2) 会費	団体	正会員構成員	1人～3人	2,000 円
		正会員構成員	4人～10人	7,000 円
		正会員構成員	11人～20人	10,000 円
		正会員構成員	21人～30人	12,000 円
		正会員構成員	31人～40人	15,000 円
		正会員構成員	41人～50人	18,000 円
		正会員構成員	51人～100人	25,000 円
		正会員構成員	101人以上	30,000 円

※ただし、中学生以下の構成員は、会費徴収上は人数カウントしない。

個人会員(正会員)		2,000 円
賛助会員(団体)	1口	10,000 円
賛助会員(個人)	1口	5,000 円
名誉会員		会費を徴収しない

附 則

1 この施行規則は、平成27年4月1日から施行する。

1 この施行規則は、平成28年4月1日から改正施行する。

1 この施行規則は、平成30年4月1日から改正施行する。

平成30年度 事業計画（案）

（自：平成30年4月1日～ 至：平成31年3月31日）

私たち文化協会は「四日市の文化情報を発信し続ける」「次代を担う子どもたちに“文化の種を蒔く”活動をする」という基本姿勢のもと、元気な人づくり、街づくりに更なる努力を惜しまず歩み続けます。また、会員の相互交流を通し、より活発な文化活動ができるよう推進します。

1、市民と一緒に、より充実した市民芸術文化祭の開催を目指します。

- ・ホームページ・CTY・パッション・広報よっかいちを活用し、行事開催のPRに努めます。
- ・市民が公募できる行事を積極的に行い、出品や出場の機会を増やします。参加型公募事業には経費の一部を補助します。
- ・「短詩型文学祭」「四日市アート展」「四日市の第九」など実行委員会事業を支援し、充実した企画の開催を促します。

2、将来を担う子どもたちに文化的、芸術的体験ができる機会を積極的に作ります。

- ・小学生を対象に「キッズ伝統文化体験教室」を開催し、日本の文化、芸術に親しむ企画を推進します。
- ・公募による子どもたちの体験事業を企画、応援します。製作体験、公募作品の展示、舞台発表などの行事に経費の一部を補助します。

3、文化活動に関する学習会を開きます。

4、市民大学講座を開きます。

- ・四日市市主催の市民大学の講座として、今年度は「文学講座」を担当します。

5、事務局活動の充実を図ります。

- ・会員が活発な文化活動が営めるよう利用しやすく、親しみのある事務局を目指します。
- ・協会内外の情報提供、広報活動、文化サポートの紹介などに努めます。

6、その他

- ・文化情報誌「パッション」を発行し、協会の情報と共に、四日市市の文化情報を発信します。
- ・ホームページの管理運営を行い、活動紹介や情報の提供を図ります。
- ・文化サポート制度をさらに充実させ、会員の活動を支援します
- ・会員顕彰事業として「文化活動功労者」を表彰します。
- ・会員交流として親睦バス旅行、新春交流会を開催します。
- ・四日市市、四日市市文化まちづくり財団等が行う文化事業への連携、協力をします。
- ・当協会の趣旨に合う事業の企画を支援、運営します。

一般社団法人四日市市文化協会役員（案）

理事長	荒 木 栄里子
副理事長	白 井 良 昭
〃	松 永 義 武※
常務理事	伊 藤 洋 史
常任理事	西 田 青 沙
〃	宇佐美 幸 義
理 事	本 多 芳 昭
〃	花 井 高 峰
〃	笹 原 久 子
〃	森 次 男
〃	熊 本 梨 里
〃	佐 藤 司
〃	広 瀬 修
〃	鈴 木 亜 樹
〃	若 尾 典 子※
〃	南 川 朋 宣※
〃	太 田 進 ※
監 事	蒔 田 勝 義
〃	山 路 泰 洲

※印新任

部門運営委員

1. 文 芸	部門	高 橋 忠
2. 美 術	部門	谷 口 路 代※
3. 邦 楽	部門	杉 本 千壽子
〃		飯 田 久美子※
4. 能 楽	部門	山 家 多喜男
5. 合 唱	部門	市 川 美智子※
〃		三 橋 みちよ※
6. 洋 楽	部門	水 谷 達 ※
7. 演 劇	部門	南 城 仁 香
8. 舞踊Ⅰ	部門	西 川 里 寿※
9. 舞踊Ⅱ	部門	松 岡 美代子※
10. 舞踊Ⅲ	部門	金 森 通 子※
11. 洋 舞	部門	石 井 亨
12. 芸 能	部門	川 田 勝 ※
13. 茶 道	部門	前 川 温 子※
14. 華 道	部門	辻 澄 甫
15. 生活文化	部門	杉 本 凱 司※
16. 趣味教養	部門	田 畠 美 保※
17. 文化交流	部門	瀬 川 純 江
18. 地域文化	部門	服 部 了
〃		石 田 清 子
19. 子ども文化	部門	北 野 なほみ
20. コラボ	部門	小 林 ちど理※
21. 個 人	部門	中 西 まさ子

※印新任

平成29年度一般社団法人四日市市文化協会文化活動功労賞

一般社団法人四日市市文化協会会員顕彰規程に基づき、平成29年度の文化活動功労賞を受賞される皆さんをご紹介します。

(順不同)

お名前

所属と主な業績

境 義平

三重四日市盆栽会 (生活文化部門)

30歳頃より盆栽を始め、三重四日市盆栽会発足以来45年、盆栽文化の普及と技術向上並びに後進の育成に顕著な功績があった。90歳の今日でも現役で、四日市アート展には2017年まで連続出展。平成24年12月と平成28年1月には、小山田美術館にて「盆栽二人展」を開催した。

熊本 梨里

華道草月流 (華道部門)

華道歴は53年に及び、四日市華道教授者連盟会長、一般社団法人四日市市文化協会理事として、伝統文化華道の振興と普及に、また後進の育成など多方面で活躍している。平成11年(財)草月会三重県支部長、草月会師範理事。平成23年草月会家元賞、奨励賞ほか授賞多数。日本生花芸術協会会員、中日生花協会会員。

石田 清子

あさけプラザ文化団体 (地域文化部門)

3歳より花柳流古典舞踊を10年学び、30歳の頃より民踊を始める。以来40年の長きに亘って精進し、現在は「民踊秋桜会」の会主として後進の指導に当たる。平成6年あさけプラザ文化団体に加盟。平成8年より理事・会計監査を歴任。平成15年より副会長として団体の発展とよりよい仲間づくりに貢献している。

内藤教室レインボウ★コーラス (合唱部門・団体)

昭和33年に故内藤壽夫主宰(常任指揮者)が創設以来60年。市民コーラスの女声部として発足、昼間練習の道を拓いた。主宰尽力の合唱連盟主催「合唱祭」から60回連続出場。胎動期は企業や学校にも呼掛け、衰退期は他部門とのジョイントで年1回の発表の場を守り抜いた。平成18年より恩師の名を残し「内藤教室」とした。

平成29年度賛助会員様

〔順不同〕

日本トランスシティ（株）様

水九印刷（株）様

四日市都ホテル 様

茶道具 山水園 様

（株）シー・ティ・ワイ 様

（学法）富田文化学園 様

（株）第一楽器 様

（株）レイ・ステージ桑名 様

（一社）セントラル愛知交響楽団 様

中川 正春 様

田中 俊行 様

永田 正巳 様

津田 健児 様

豊田 政典 様

一見 政幸 様

若菜 淳二 様

ご支援有難うございました